

# 森づくり通信

No.69

2023年 9月26日(火)発行 発行/金沢森づくりサポートバンク事務局  
〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)  
TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



鬼灯

今年は特に猛暑でした。さらに雨も降らず手取川ダムの貯水率が25%を切り、関係機関に節水が呼びかけられました。

家庭菜園でも近年まれに見る不作でオクラなど背丈が伸びないうちに実を着けてしまい、実も固く早く種をつけて次世代に託すかのような感じです。

なにげなく気づいたのはハチの姿をあまり見かけない事です。ハチは農作物の75%の受粉を担っているとも言われ、異常気象は生態系の様々なところに影響を与え、とても気になる所です。

## 令和5年度 金沢森づくりイベント情報(一般参加可能分)

日程	イベント内容(予定)	場所	問合せ先
10月14日(土)	きんしんの森づくり 草刈り、階段作り、秋の恵みをいただく	金沢市東原町	きんしん環境財団 076-231-7990
10月22日(日)	JA 金沢農業まつり 新鮮農産物販売、焼きしいたけ試食など	金沢市松寺町	JA ほがらか村本店 076-237-0641
11月11日(土)	森の学校 森林活動を通じて木や森について学びます	金沢市東原町	金沢市森林再生課 076-220-2217

## 8月3・4日(木・金) 夏休み子どもウッティアート

金沢市民芸術村パフォーミングスクエアを会場に、2日間午前、午後4回開催する中、市民親子134名が、金沢の森を整備する中で伐ったスギの間伐材を使ってオリジナルの時計を作りました。

金沢市森林再生課課長の挨拶後、5グループに別け、それぞれ2名の指導スタッフを配置しスタートしました。

森づくり専門員から森の働きや木を使う事は地球温暖化を抑止する話をした後、時計の作り方を説明しました。



親子で協力して作っていますが、釘打ちなどの作業に慣れていない保護者には、スタッフが補助しました。

ドングリや小枝、松ぼっくりなどをグルーガンで飾り付け、名前や日付を書いてシールも貼って完成させました。





# 森づくり出前講座 実施報告



## 森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての説明を行う、または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは **金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217** までお願いします

### 6/12 (月) コマツの森づくり



コマツ金沢工場では地域貢献の一環として海岸に抵抗性クロマツを植え海岸林再生を行っており、新人研修として植栽地の草刈りを14名が行いました。

### 6/30 (金) 内川小学校出前講座



内川小学校3年生4名が、春に植菌したシイタケのホダ木の本伏せを、学校横に生えている竹で本伏せの材料を作り、さらにノコギリで切って器も作りました。

### 7/15 (土) ダンロップの森づくり



社員・家族38名がキゴ山ダンロップの森で整備活動を行いました。刈払機も使いカラマツ林とカラマツの植栽地のメンテナンス作業を行いました。

### 7/24 (月) かみやち児童クラブ



神谷内のかみやち児童クラブ児童40名を対象に、環境政策課とのコラボによる地球温暖化の話と森の出前講座やスギのネームプレート作りを行いました。

### 7/25 (水) アリスこどもの国



伏見台のアリスこどもの国の児童58名を対象に、森が地球温暖化を防いでいることを知ってもらい、スギの間伐材でネームプレートを作りました。

### 7/26 (水) 森本よしわら児童クラブ



森本よしわら児童クラブ児童16名を対象に、森が美味しい水を作ってくれる紙芝居「雨水のぼうけん」を見てもらいネームプレートを作りました。

### 7/28 (金) よつぱクラブ



涌波のよつぱクラブ児童18名に、地球温暖化で人間も含めた生き物が大変な事になっている現状を説明し、森が地球温暖化を防いでいる事を説明しました。

### 7/31 (月) 伏見台第2・3児童クラブ



児童33名に森が私達の飲水を作ってくれる紙芝居を見てもらい、木はCO2の缶詰なので、作ったネームプレートを長く使ってほしいなどの話をしました。

### 8/1 (火) 中村児童クラブ



児童33名に地球温暖化はすべて人間のせいで地球の生き物がみんな困っている事を説明し、森が温暖化を防いでいることを知ってもらいました。



# 森づくり出前講座 実施報告



## 8/7 (月) めいせい児童クラブ



此花町のめいせい児童クラブ児童25名を対象に、森の出前講座を行いました。森の話の後1, 2年生はネームプレート、3年生はマルチスタンドを作りました。

## 8/8 (火) おおぞらクラブ



長坂のおおぞらクラブ児童32名を対象に環境政策課と共同で地球温暖化問題を中心に森の出前講座を行いました。金沢の森クイズも答えてもらいました。

## 8/9 (水) 中央児童クラブ



玉川町の中央児童クラブ児童37名に森の出前講座を環境政策課とに行いました。温暖化の原因を学び、木を使って地球温暖化を防ぐ事も知ってもらいました。

## 8/10 (木) 医王っ子クラブ



二俣町の医王っ子児童クラブ児童19名に環境政策課と共同で森の出前講座を行いました。地球温暖化に関する紙芝居を見てもらい森の話も行いました。

## 8/21 (月) おひさまクラブ



環境政策課とコラボで、長坂のおひさま児童クラブ児童36名に地球温暖化の問題や森が温暖化を防いでいる事を説明し、スギのネームプレートを作りました。

## 8/22 (火) 栗崎児童クラブ



環境政策課と連携し、児童36名を対象に森の出前講座を行いました。地球温暖化の問題点と森クイズの後、スギのネームプレートを作ってもらいました。

## 8/23 (水) さいおう児童クラブ



菊川の児童クラブ児童40名を対象に森の出前講座を行いました。環境政策課から地球温暖化の話の後、森が温暖化を防いでいる事を説明しました。

## 8/24 (木) ひまわりクラブ



涌波のひまわりクラブ児童23名に、地球温暖化で起きる災害などを環境政策課から話してもらい、金沢の森のクイズを行いネームプレートを作りました。

## 8/25 (金) セカンドプレイス hikari



元町の児童クラブ児童25名を対象に、森の出前講座を行いました。SDGsと森の関係の話を行ったあと、スギのマルチスタンドを作りました。

## 8/28 (月) わらべ児童クラブ



畝田中のわらべ児童クラブ児童14名を対象に、森の出前講座を開催しました。森の話を聞いてもらいスギのネームプレートを作ってもらいました。

## 8/29 (火) 八日市もりのき児童クラブ



児童39名を対象に出前講座を行い、森の話の後でスギのネームプレートを作りました。金沢の森の妖精「かなりん」のシールも飾り付けました。

## 8/30 (水) にここ児童クラブ



松村のにここ児童クラブ児童30名に地球温暖化の原因と、温暖化を防ぐ森の働きや木を使うことも温暖化を防ぐ事を知ってもらいました。

## 金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

### 「金沢森づくりサポートバンク」

<http://www.kanazawa-forest.com/supportbank/>

森づくりイベントの案内や会員の皆さんの活動の様子を掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどでもできるサイトとなっています。

また、サイト内には年4回発行の「森づくり通信」も閲覧できるようになっており、団体会員の活動紹介もさせて頂いております。ぜひ1度ご覧ください。



## 刈払機・チェーンソー 講習会のお知らせ

講習の種類	開催日	開催場所	締切日
刈払機取扱作業安全教育	R5年 11月2日(木)	石川森林文化 ホール	令和5年 10月23日(月)
伐木等業務(チェーンソー)特別教育	令和6年1月 17(水)～19日(金)	石川森林文化 ホール	令和5年 12月25日(月)

刈払機やチェーンソーを安全に正しく使うための講習会が実施されています。

登録会員の方には受講に対しての支援を行っています。希望される方はこの機会に是非受講下さい。  
会場は石川森林文化ホール(金沢市東蚊爪1-23-1)で行います。

※お問い合わせ・お申し込みは、期日まで金沢森づくりサポートバンク事務局までお願いします。

※必ず金沢森づくりサポートバンクにお申し込み下さい。(直接申し込みは補助対象になりません)

## 編集雑記

### 「里山」

今から60年ほど前は集落の近くにある雑木林(里山)がなければ私たちの生活が成り立たないと言っても過言ではありませんでした。私も微かに憶えているのは子供の頃家にかまどがあり、母が朝一番にかまどに火を入れ家中に少しの煙が漂い、その後ご飯が炊ける美味しそうな匂いが満ちてくる情景です。その煮炊きをする原料が薪でした。

里山はその他にも落ち葉を肥料、草を飼料、炭焼やきのこの原木、山菜や薬草、狩猟・など私達に恩恵を与えてくれました。ところが1960年以降のエネルギー革命で、ガスや灯油、電気が利用され肥料も化学肥料にとってかわり、里山は利用価値がなくなり人が入らなくなりました。

人が入らなくなった里山は次第に笹や竹などが繁茂し植生も遷移し藪と言われるものになってきました。これだけでも大問題だと思いますが、里山は人間が利用しながら作られた森なので、集落も含めた生態系ではため池や田んぼ、畑、小川などで多くの生き物が生活しています。森は陸上で一番多くの生物が生息していると言われており、生物多様性という言葉が聞くようになって久しく、絶滅危惧種と言われる言葉も同様です。私達も含め子どもたちが森を身近に感じてもらう事が、ますます重要なことだと思います。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

